

## 本校の「いじめ防止の取組」について

### 法による「いじめ」の定義について

いじめは、いじめ防止対策推進法によって「当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているもの」と規定されています。

社会通念上のいわゆる「いじめ」だけでなく、従来では「けんか」や「お互い様」と捉えられていたような人間関係によるトラブルを含めて「いじめ」と捉え、早期に対応することが重要です。

すべての児童・生徒が安全・安心な学校生活を送るために、今の「いじめ」の定義があります。

### 令和6年度の本校の「いじめの認知件数」について (令和6年11月末現在)

いじめは「覗き込まないと見えません」。軽微なものも含めて積極的に認知することによって、いじめの重篤化を防ぎます。

本校では、6・11・2月に年3回の「学校生活に関するアンケート」を実施しています。そのアンケートによると、今年度の本校のいじめの認知件数は、4月から11月までに軽微な報告を含めると194件となりますが、そのほとんどが学級での指導・助言によって解消済みです。ささいな日常のトラブルを見逃さず、引き続き「いじめ見逃しゼロ」を目指し、いじめの早期発見・早期対応を行ってまいります。

### 本校の「いじめ防止の取組」について

本校では、HP掲載の「学校いじめ防止基本方針」に則り、「いじめ防止対策委員会」を中心に、組織的にいじめに対応しています。

お子様のことで何か心配や不安を感じたら、ぜひ学級担任に相談してください。学校いじめ対策委員会にて組織的に対応していきます。

